

東北日報

本紙一ヶ月十元
半年五十五元
一年九十元
郵費別
石巻支店
仙台支店
青森支店
弘前支店
秋田支店
盛岡支店
旭川支店
札幌支店
東京支店
大阪支店
京都支店
名古屋支店
福岡支店
北九州支店
北海道支店
支店名目
電話
印刷
石巻
仙台
青森
弘前
秋田
盛岡
旭川
札幌
東京
大阪
京都
名古屋
福岡
北九州
北海道

社説

濱口内閣が、全民衆に公表して掲ぐるに到つた政策がどの點まで効績が擧げ得るか疑問とされてゐるが、殊に明るい政治の聲明と共に、政治の公明といふ看板を堂々と民衆にみせびらかしたものであることは周知の事實である。

果して民政黨が政治の公明を爲しつゝあるか、爲し得るの誠意を有するかどうかは全國的の異動行為に現はれてゐると思ふのである。

然るに首の坐に据物切りにされた。

若し今回の如き下級警察官までも惨忍極まる處置を執らねばならぬほどの来るべき解散後の總選挙が怖しいといふのであり干渉彈壓しないければ反對黨に對して勝算がないといふのであるならば民政黨も末路ではある。

治安警察などてんで頭のない某縣議の策謀

吉田刑事部長の免職も彼等一味のあやつり事

今回の刑事巡査移動發表により平署に於ても老練にして敏腕の聞へ高き青田刑事部長の誠意をはじめ四五巡査の移動を發表されたが同移動を見るに

露骨な ほど黨臭が加味されておる警察の本義は氣に喰はぬの一點張りから之れは某署員も極度に憤慨

仕舞ふ。地方黨員などは有頂天になつて無名の自稱政治家連が、平署に現はれて巡視するなど、署長を使用人扱ひにする所などもなか／＼稚氣も帯びてゐるし、狂人じみてゐる。

であるといふことが自己の醜劣卑怯な態度と内情の醜態を曝露し告白してゐるのである。

増額すると申し越したの、祝賀會計画は中止されると同時に平町の寄附額が増加する餘儀なきに至り興味をそつて居たが平消防組では協議の結果愈々祝賀會計画を廢し町内から約五百圓の

平町附近を礦區とする某大ノは二十一日平署に説諭方礦業會社の石炭探掘出願はを願出た

祝賀會は癢して記念に風呂敷一枚

平消防組のキモ入で平署問題漸く落着す

も氏を敵首した事は本縣警察界の一大損失であるが

關彰商店を相手に説諭願

平町仲町十組藤乾そう場

妊娠が

式年遷宮祭の平町の特別奉拜者決定

某炭礦會社から平町地下探掘出願

然し結局は不許可か

平町附近を礦區とする某大ノは二十一日平署に説諭方

礦業會社の石炭探掘出願はを願出た

右と同様の出願が仙臺礦山監督局に提出された平町と

掘られては一大事とばかり従三日好間村好樂館で發會式

來より躍起となつて反對連を舉行するが同午後一時か

蘭市況

四倉蘭市場に於ける二十日

取引状況及び取引貫数は

を返せと筆筒衣類等を押へ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

左の如し

平町長 伏見彦衛

鐵道員 馬場武太郎

岡田千藏

荷路夫の鬼母送局 不義

兵衛を殺して知らん顔の半

の緑川キミイ(二三)は其の

後植田署に留置して取調べ

中であつたが昨二十日身柄

一件書類と共に送局した

